

2012年度

日本史

(問題)

〈H2406BY16〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および記述解答用紙を開かないこと。
2. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. マーク解答用紙記入上の注意
 - (a) 印刷されている受験番号を確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (b) 解答用紙の解答欄は、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルでマークすること。
 - (c) 解答は指定された解答欄にマークし、その他の部分には何も書かないこと。
 - (d) マーク欄は、はっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムでていねいに、消し残しがないようによく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

(例)

マークする時	☒ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い
マークを消す時	☐ 良い	☐ 悪い	☒ 悪い

4. 記述解答用紙の所定の欄（2か所）に、氏名および受験票に記載されている受験番号を正確に記入すること。受験番号は、右詰めで記入し、番号欄に余白が生じる場合でも、番号の前に「0」を記入しないこと。

(例) 3825番 ⇒

万	千	百	十	一
	3	8	2	5

※数字は読みやすいように、はっきり記入すること。

読みにくい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

5. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

- 1 次の文章を読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。もし、適当なものがないければ6をマークせよ。

平安時代には多くの政変が起きた。

桓武天皇が亡くなると、平城天皇が即位した。平城天皇は官司の統廃合など政治の簡素化を進めたが、数年で退位し、太上天皇（上皇）となった。代わって嵯峨天皇が即位したが、平城上皇は、藤原薬子とその兄二の協力を得ながら、復位と平城京への遷都を計画した。

それに対して、嵯峨天皇は蔵人所を設置し、情報が上皇側に流れることを防ぎ、乱を鎮圧した。この事件を薬子の変（平城太上天皇の変）と呼ぶ。

仁明天皇が即位すると、へ親王が皇太子となった。しかし、嵯峨・淳和上皇が亡くなると、へ親王をおしたてて、謀反を起こす計画があるとの密告があり、へ親王とそのまわりに結集した勢力は排除された。これが承和の変である。代わって皇太子になったのは、藤原良房と血のつながりのある道康親王（後の文徳天皇）であった。

文徳天皇が亡くなると、史上はじめて幼帝として即位したのがリ天皇であった。藤原良房は、リ天皇の摂政に任じられ、天皇を輔佐した。この後、しばらくして応天門の変が起きた。この事件では、応天門に放火したとして太納言伴善男が罪に問われ失脚した。さらに、又天皇の子である光孝天皇は、藤原基経を関白に任命し、藤原氏の覇権が確立した。

問A 下線部イが天皇であった期間のこととして誤っているものはどれか。

1. 山背国を山城国に改めた。
2. 勘解由使を置いた。
3. 雑徭を30日に半減した。
4. 東寺・西寺を建立した。
5. 陸奥国で伊治磐麻呂の乱が起きた。

問B 下線部ロと下線部ハの関係について正しいものはどれか。

1. 兄弟である。
2. 直接的な血縁関係にない。
3. 伯父と甥である。
4. 親子である。
5. いとこである。

問C 下線部ハが天皇であった期間のこととして誤っているものはどれか。

1. 金剛峰寺が建立された。
2. 延暦寺に大乘戒壇が許された。
3. 最澄・空海を乗せた遣唐使船が出発した。
4. 検非違使が置かれた。
5. 弘仁格式が編纂された。

問D 空欄二にあてはまる人物は誰か。

1. 藤原冬嗣
2. 藤原緒嗣
3. 藤原種継
4. 藤原清河
5. 藤原時平

問E 下線部ホについて述べた文として正しいものはどれか。

1. 藏人頭^ホの一人は巨勢野足であった。
2. 律令に規定された官司である。
3. 淳和天皇の時に廃止された。
4. 検非違使を統括していた。
5. 国史を編纂していた。

問F 空欄へにあてはまる人物は誰か。

1. 惟喬
2. 惟仁
3. 正良
4. 阿保
5. 恒貞

問G 下線部トについて、謀反をもちかけたとされる人物は誰か。

1. 藤原順子
2. 橘逸勢
3. 源信
4. 文室康秀
5. 橘広相

問H 下線部チについて、その詳細を記している正史は何か。

1. 『続日本後紀』
2. 『日本後紀』
3. 『日本文徳天皇実録』
4. 『日本三代実録』
5. 『続日本紀』

問I 空欄リにあてはまる人物は誰か。

1. 朱雀
2. 宇多
3. 清和
4. 醍醐
5. 陽成

問J 空欄ヌにあてはまる人物は誰か。

1. 文徳
2. 清和
3. 嵯峨
4. 仁明
5. 淳和

- 2 次の史料Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。解答にはもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

（史料Ⅰ）

（文治元年十一月）十二日辛卯（中略）因幡前司 イ 申していわく、（中略）天下に反逆の輩あるの条、さらに断絶すべからず。（中略）ロ・庄園ごとに、守護・地頭を補せらるれば、あながちに怖るるところあるべからず。（中略）二品、ことに甘心^{（注1）}し、この儀をもって治定^{（注2）}す。

（I ニ J）

（注1）甘心：感心 （注2）治定：決定

問A 空欄イに入るのは鎌倉幕府公文所（のちの政所）の初代長官になった人物の名である。それは誰か。

1. 時房
2. 時政
3. 広元
4. 康信
5. 義盛

問B 空欄ロに入る語句はどれか。

1. 国衙
2. 寺社
3. 天下
4. 分国
5. 名田

問C 下線部ハの人物に関して正しい説明はどれか。

1. 宗尊親王の令旨に応じて挙兵した。
2. 倶利伽羅峠の戦いで源義仲を破った。
3. 挙兵後はじめて上洛すると右近衛大将に任ぜられた。
4. 奥州の藤原秀衡を滅ぼした。
5. 子息の頼家を将軍職から追放した。

問D 空欄ニには鎌倉幕府の歴史を編年体で編纂した史料名が入る。それは何か。

1. 吾妻鏡
2. 愚管抄
3. 元亨釈書
4. 釈日本紀
5. 方丈記

(史料Ⅱ)

保元・平治・治承より以来、武家の沙汰として政務をほしいままにせしかども、元弘三年の今は天下一統に成しこそめづらしけれ。君の御聖断は(中略)実にめでたかりし善政なり。(中略)天下一同の法をもて、安堵の^ホトを下さるといへども、所帯をめさるる輩、恨をふくむ時分、公家に口ずさみあり。チなしという詞を好みつかいける。

(『梅松論』)

問E 次のa～dのうち、下線部ホより以前に起きた出来事が2つある。その組み合わせはどれか。

- a 正中の変 b 元弘の変 c 中先代の乱 d 湊川の戦い

1. aとb
2. aとc
3. aとd
4. bとc
5. bとd

問F 下線部ヘの人物に関して誤っているものはどれか。

1. 延喜・天曆の治を理想とした。
2. 鎌倉幕府によって隠岐に配流された。
3. 記録所を設置した。
4. 建武式目を制定した。
5. 雑訴決断所を設置した。

問G 空欄トに入る語句はどれか。

1. 院宣
2. 院庁下文
3. 検地帳
4. 宣旨
5. 綸旨

問H 空欄チに入る人物の名は誰か。

1. 義貞
2. 長年
3. 正成
4. 尊氏
5. 直義

(史料Ⅲ)

(天正十年六月)二日、戊子、早天、リの屋敷本能寺に当たって放火の由、告げ来る。(中略)即刻相聞く、任日向守謀叛を企て、丹州より人数をもって取り懸かり、リを生害すと。

(『兼見卿記』)

問I 空欄リの人物が行ったことの説明として正しいものはどれか。

1. 将軍足利義輝を暗殺した。
2. 美濃加納に樂市令を發布した。
3. 浅井・朝倉氏と連携する高野山を焼き打ちした。
4. キリスト教を弾圧して、京都から宣教師を追放した。
5. 清洲会議を開いて、自らの後継者を指名した。

問J 下線部又の人物が敗れて死に至った戦いはどれか。

1. 姉川の戦い 2. 小牧・長久手の戦い 3. 賤ヶ岳の戦い 4. 長篠合戦 5. 山崎の戦い

3 次の史料とその解説文を読み、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。なお、空欄チについては直接設問を設定していない。

聖人の書を考ふるに、人間に五つの品位あり。是を五等の人倫といへり。第一に天子、第二に諸侯、第三に卿大夫、第四に士、第五に庶人なり。是を日本にていふときは、天子は禁中様、諸侯は諸大名主、卿大夫は旗本官位の諸物頭、士は諸旗本無官の等也。公方様は禁中様に次で諸侯の主たる故に、公方家の侍は無官たりといへども、生れながら六位に準じ給ふ例なり。公方家の侍の外は、諸家中ともにみな「ハ」といふて、又内の侍いづれも庶人のうちなりと知べし。其内一国の家老たる人は、諸侯の大夫なれば公方家の侍に準ずべし。其外国々の諸侍、扶持切米の面々いづれもみな庶人なり。擬庶人に「二」つの品位あり。是を「二」民と号せり。士農工商これなり。士は右にいへる諸国又内の諸侍なり。農は耕作人なり。今は是を百姓と号す。工は諸職人なり。商は商売人なり。

この史料は、長崎の天文学者西川如見により、1690年代から1710年代にかけて執筆され、1719年に刊行された町人向けの教訓書『町人叢』巻一の一部である。ここには、「チ」の古典による身分の区分を下敷きにした、近世人による近世日本の身分認識が示されており、興味深い。「チ」の古典による、「天子」「諸侯」「卿大夫」「士」「庶人」という「五等」の区分と、近世日本の諸身分とは若干のズレがあったので、ここでは、將軍を天皇に次ぐ「諸侯の主」として「諸侯」に含めるなど、説明の工夫が施されている。このなかでもっとも注目されるのは、「公方家の侍」と「一国の家老」を除く「国々の諸侍」はみな「庶人」に区分されているということである。その「庶人」が「士農工商」であるから、武士一般はみな庶民であったことになる。そして、その「士農工商」は職分としての区分であることが示されている。

実際一般に、「士農工商」という語は、職分を説明するときに持ち出されることが多く、特に被支配身分であった「農工商」の側から、自分たちの役割が強調される場合に使われた。武士一般は、「農工商」にとって横並びで位置づけられる対象であったということである。ただし、「農工商」の横並び意識は、賤民身分に対する差別と表裏の関係にあった。平準化を求める意識が胎動しつつも、人よりも上位にありたいとの願望も同時に存在していたのである。

問A 下線部イに該当するものはどれか。

1. 日本仏教の古典 2. 日本神道の古典 3. 中国儒教の古典
4. 西欧キリスト教の古典 5. インド仏教の古典

問B 下線部ロに該当するものはどれか。

1. 將軍 2. 御家人 3. 旗本 4. 大名 5. 天皇

問C 空欄ハに入るものはどれか。

1. 直臣 2. 地頭 3. 名子 4. 陪臣 5. 中間

問D 空欄ニに入る数字はどれか。

1. 一 2. 二 3. 三 4. 四 5. 五

問E 江戸時代の下線部ホに関する説明で、正しいものはどれか。

1. オランダの東インド会社の支店として、商館が置かれた。
2. 中国皇帝から派遣された商人と日本の商人との間で、自由に貿易が行われた。
3. 九州諸藩が共同支配地として管理した。
4. 朝鮮通信使が来日する際、使節が最初に必ず立ち寄った。
5. 琉球人居留地が置かれ、琉球との貿易が行われた。

問F 西川如見と同じ時期に活躍した、下線部ヘに該当する人物は誰か。

1. 伊能忠敬
2. 渋川春海
3. 海保青陵
4. 佐藤信淵
5. 高橋至時

問G 下線部トの期間に起こった出来事はどれか。

1. シーボルト事件
2. 紫衣事件
3. 慶安事件
4. 赤穂事件
5. グローニン事件

問H 下線部リに関連して、江戸時代の幕府と朝廷に関する出来事a～cを、年代順に正しく配列したものはどれか。

- a 天皇の地位に就いたことのない天皇の実父に、太上天皇の尊号を与えることを認めるよう朝廷から幕府へ願い出たが、幕府はそれを認めなかった。
 - b 15世紀後半から中断していた大嘗祭が、幕府によって再興された。
 - c 幕府は、朝廷を規制するため、禁中並公家諸法度を制定した。
1. a→b→c
 2. b→c→a
 3. b→a→c
 4. c→a→b
 5. c→b→a

問I 江戸時代の下線部ヌに、認められなかったものはどれか。

1. 苗字の公称
2. 身分標識としての帯刀
3. 百姓・町人から無礼を受けたときの切捨御免
4. 諸外国への自由な渡航
5. 知行・俸禄

問J 江戸時代の下線部ルに関する説明a～cについて、正しい組み合わせはどれか。

- a 死牛馬の処理に従事する人びとへの差別観念は、「えた」の呼称によって表された。
 - b 賤民身分のなかには、物乞いや芸能活動を生業とする者がいた。
 - c 江戸時代を通じて、差別強化に反対する一揆は起こらなかった。
1. a 正 b 正 c 誤
 2. a 正 b 誤 c 誤
 3. a 正 b 誤 c 正
 4. a 誤 b 正 c 誤
 5. a 誤 b 誤 c 正

4 次の史料Ⅰ～Ⅳは、ある人物の談話である（一部改変）。これを読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。

（史料Ⅰ）

三百諸侯のうち、学問にかけては鍋島閑叟公と肩を並べる者はあるまい。公は非常な学問好きで、幼少の頃から和漢の学を修めたが、洋学にもまた眼をつけて、ベルリ渡来以前から既に西洋研究をはじめ、藩の子弟に洋学を学ぶことを誘いすすめた。あるいは洋学家を招き、あるいは長崎在留のシーボルトに金を送って新書を買入れるなど、西洋文明の輸入に心を砕いた。（中略）当時諸侯のうち、才名一世に高かった者は、薩摩の島津斉彬、越前の松平春嶽、土佐の山内容堂等その人に乏しくはなかったが、公の眼中には、ただ斉彬公一人あったのみで、他は少しもこれを信用していなかった。

（史料Ⅱ）

王政維新になって、幕府二百五十年の栄華が終りを告げるとき、先生は小禄ながら幕府の禄をうけていた。しかし先

生の心では、国の文明を進めようとする目的からは、幕府がつぶれようと、伏見の敗北がおころうとも、少しも頓着しないのである。書生を集めて講義をやっておられた。戦争は大嫌いだ、内輪げんかの時ではない、これから学問をして国を文明にする、薩長と將軍のけんかはどっちが勝ってもよい。そんなことに命を捨てちゃたまらないと云われた。(中略) 先生は自分の主義のためには少しも動かなかった。

(史料Ⅲ)

今の井上侯が外務大臣のとき、条約改正の必要から、わが社会の各方面の改良を企て、いわゆる文明的事業に対しては、極力を尽くした。そこで新島君は、まず井上侯にその目的と計画を話し尽力を願った。君の精神に感動した侯は、大いに力を尽くすつもりでいたが、二十年の春、突然内閣をひくこととなり、翌二十一年の春、わが輩が代って外務大臣になった。(中略) 種々な事務引継ぎと共に、新島君から依頼の件をわが輩に紹介した。君が非凡の人物であること、教育に対して熱烈な精神を有すること、私立大学設立の計画をたてたことなど、ことごとくわが輩に話し、このような人物により企てられた、このような事業を是非成功させたいから、共に尽力してくれということであった。

(史料Ⅳ)

公は実に、最近元老中の、文明主義を抱いた錚々たる人物で、維新以来、諸般の文明的施設をわが邦に布く上に、多大の偉功を樹てたのである。(中略) 常に専制保守の迷想を打破するに尽力したが、晩年に至っては、更に大いに悟るところあって、真に憲政有終の美をなそうには、国民的政党の訓練と、後援に待たざるべからずと考え、ついに自ら立憲的政党の組織に着手した次第であるが、好事魔多しで、公の経歴と地位は、かえって妨害を受ける原因となり、まだその理想を実行するに至らないうちに、ついに政党を去るの余儀なからしめた。ゆえにわが輩は、彼の抱くところを讚美すると同時に、彼が志成らぬうちに、ついに凶変に斃れたその不幸に対し、大いに同情の念を禁ずることを得ないのである。

問A 下線部イに関する次の記述のうち、正しいものを2つマークせよ。

1. 種痘所を設置した。
2. ガラス製造所を設置した。
3. アームストロング砲を鑄造した。
4. 越荷方を設置した。
5. 反射炉を築造した。

問B 下線部ロに関する次の記述のうち、誤っているものを2つマークせよ。

1. オランダ商館の医師であった。
2. 鳴滝塾を開いた。
3. 帰国後、『日本見聞記』を公刊した。
4. 門下生に緒方洪庵がいる。
5. 日本地図を国外に持ち出そうとして、国外追放となった。

問C 下線部ハに関する次の記述のうち、誤っているものを2つマークせよ。

1. 『人権新説』を執筆した。
2. 『西洋事情』を執筆した。
3. 『時事新報』を創刊した。
4. 『学問のすゝめ』を執筆した。
5. 『西国立志編』を執筆した。

問D 下線部ニに関する次の記述のうち、正しいものを2つマークせよ。

1. 鳥羽・伏見の戦いで新政府軍に敗れた幕府側は、やむなく大政を奉還した。
2. 新政府側は、鳥羽伏見の戦いで勝利すると、ただちに王政復古の大号令を発した。
3. 幕府側の勝海舟は、新政府側の西郷隆盛と交渉し、江戸城を無血開城させた。
4. 奥羽越前藩は越後長岡を拠点に同盟を結成して抗戦したが、打ち破られた。
5. 榎本武揚は箱館の五稜郭に立てこもって抗戦したが、新政府軍に降伏した。

問E 下線部ホに関する次の記述のうち、誤っているものを2つマークせよ。

1. 極端な欧化政策を採用し、非難された。
2. 条約改正案で税権回復について規定していなかったため、国民の反感を買った。
3. 条約改正案で外国人判事を多数任用する約束をし、国権侵害と批判された。
4. 外交交渉を秘密にしていたため、政府内外から批判を受けた。
5. ノルマントン号事件の後、国民は完全な法権回復を強く望んだ。

問F 下線部ヘに関連して述べた次の記述のうち、誤っているものを2つマークせよ。

1. 新島襄が開設した同志社英学校は、後に同志社大学となった。
2. 西園寺公望が開設した専修学校は、後に専修大学となった。
3. 山田顕義が開設した日本法律学校は、後に日本大学となった。
4. 成瀬仁蔵が開設した女子英学塾は、後に日本女子大学となった。
5. 岸本辰雄らが開設した明治法律学校は、後に明治大学となった。

問G 下線部トに関する次の記述のうち、誤っているものを2つマークせよ。

1. 初代の元老院議長である。
2. 初代の枢密院議長である。
3. 初代の総理大臣である。
4. 初代の韓国統監である。
5. 初代の満鉄総裁である。

問H 下線部チに関する次の記述のうち、正しいものを2つマークせよ。

1. 憲政本党と手を組んだため批判された。
2. 藩閥と妥協した政権であると批判された。
3. 極端な減税政策を採用して、官僚の支持を失った。
4. 山県有朋系の貴族院勢力から抵抗された。
5. 軍事費削減の政策を採用したため、軍部勢力から批判された。

問I 下線部リよりも後の出来事として、正しいものを2つマークせよ。

1. ハーグ密使事件が起こった。
2. 韓国併合を行なった。
3. 日露戦争が勃発した。
4. 朝鮮総督府を設置した。
5. 義兵運動が起こった。

問J 史料Ⅰ～Ⅳの談話者に関する次の記述のうち、誤っているものを2つマークせよ。

1. イギリスに留学した。
2. 内務卿となった。
3. 大蔵卿となった。
4. 第一次世界大戦に参戦した時、総理大臣であった。
5. 進歩党の党首となった。

5 次の文章Ⅰ・Ⅱを読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。

Ⅰ 第一次世界大戦は、アメリカ大統領ウィルソンが提唱した14カ条をドイツが受け入れたことにより1918年11月に休戦が成立し、1919年にパリで開かれた講和会議でヴェルサイユ条約が締結された。日本は5大連合国の一つとしてこれに関わり、国際政治での発言力を強めるとともに、第一次世界大戦中から進めていた中国への進出を一層強化するようになった。また、ロシア革命による帝政ロシアの崩壊とソビエト社会主義共和国連邦の成立など、東アジア情勢に大きな変化が見られるようになった。

アメリカはこうした東アジア問題も含めた国際問題を審議するための国際会議を開催し、そこで一連の国際協定が結ばれた。これに対して日本は、高橋是清内閣がこれらの国際協定を積極的に受け入れることで協調外交の基礎を作り、その後の加藤友三郎内閣、第2次山本権兵衛内閣もこの方針を承継した。また、1924年に成立した護憲三派による加藤高明内閣では、これまで協調外交に反対していた憲政会もこれに同調し、協調外交を進めた。この時の外相が幣原喜重郎であったため、幣原外交とも呼ばれた。

その後も日本ではこうした外交方針が基調として順調に推進され、主要15カ国間での不戦条約に加わるとともに、ロンドン海軍軍縮条約の批准も行なうなど、国際協調の時代が続いた。

問A 下線部Ⅰに関連する記述として誤っているものを2つマークせよ。

1. 日本は、日英同盟を理由にドイツに宣戦布告し第一次世界大戦に参戦した。
2. 日本は、中国政府に南満州および東部内蒙古における日本の優越的地位を承認させた。
3. 日本は、中国政府に、漢冶萍公司を日中両国の合併とすることを約束させた。
4. 日本は、中国政府に政治、財政、軍事に関する顧問として日本人を採用させた。
5. 寺内正毅内閣は、袁世凱政府に多額の経済援助を与えた。

問B 下線部Ⅱに関連する記述として誤っているものを2つマークせよ。

1. 日本はイギリス、アメリカ、フランスと4カ国条約を締結し、日英同盟が廃棄された。
2. 日本は9カ国条約をイギリス等と締結したが、締約国に中国は含まれていなかった。
3. 日米間の石井・ランシング協定は、維持された。
4. 日中間でも交渉が行なわれ、山東省の旧ドイツ権益を中国に返還する条約も締結された。
5. ワシントン海軍軍縮条約が締結され、締約国の主力艦の保有量の制限等が定められた。

問C 下線部Ⅲに関連する記述として誤っているものを2つマークせよ。

1. 加藤友三郎内閣は、非政党内閣であった。
2. 加藤友三郎内閣の下では、軍備縮小は行なわれなかった。
3. 第2次山本権兵衛内閣の下で、甘粕事件が起こった。
4. 第2次山本権兵衛内閣が引責のため総辞職した原因は、海軍高官の汚職事件であった。
5. 第2次山本権兵衛内閣の後継内閣は、貴族院と官僚の支持を得ていた清浦奎吾内閣であった。

問D 下線部二に関連する記述として誤っているものを2つマークせよ。

1. 護憲三派は、政友本党と憲政会および立憲政友会の3党から構成された。
2. 加藤高明は、憲政会の総裁であった。
3. この内閣は、満20歳以上の男性に衆議院議員の選挙権を与える普通選挙法を成立させた。
4. この内閣の下で、治安維持法が成立した。
5. この内閣は、最終的には憲政会の単独内閣となった。

問E 下線部ホに関連する記述として誤っているものを2つマークせよ。

1. 幣原外交は、経済重視の外交姿勢を特徴とした。
2. 幣原外交は、中国に対する関係で不干渉主義を掲げていた。
3. 日中関係全般の安定化に成功した。
4. 加藤高明内閣の下で、日本は日中関税協定を締結し中国に関税自主権を認めた。
5. 日本は日ソ基本条約を締結し、北樺太からの撤兵と引換えに北樺太の油田の開発権を獲得した。

II 浜口雄幸内閣は、国内において軍や右翼から、軟弱外交との非難を受けた。それでも、浜口内閣の下で日本政府は軍縮方針に従ってロンドン海軍軍縮会議に参加し、ロンドン海軍軍縮条約の調印に踏み切った。これに対して、野党や海軍軍令部等が、天皇の ヘ² 権を犯すものであると激しく攻撃した。こうした問題のほか昭和恐慌、満州事変等をきっかけとして、急進的な国家改造運動が台頭するようになり、内外政策の転換に向かっていった。

浜口内閣の後、第2次若槻礼次郎内閣、犬養毅内閣が成立するが、1931年には陸軍青年将校によるクーデタ未遂事件が起こった。その翌年にも ト² が率いる血盟団のメンバーが井上準之助前蔵相や岡塚磨三井合名会社理事長を暗殺する事件が起き、五・一五事件では犬養首相が射殺された。この事件の後に成立したのが、海軍大将 チ² を首相とする内閣であり、これにより政党内閣の時代が終焉を迎えた。

また、チ² 内閣は、リ² を取り交わして満州国を承認した。しかし、国際連盟は、リットン調査団の報告書に基づいて満州国が日本の傀儡国家であると認定し、日本に対して満州国の承認を撤回することを求める勧告案を採択した。そのため、日本は、ヌ² 年3月に国際連盟からの脱退を通告し、国際的に孤立していくこととなった。

問F 空欄へに該当する語句を記述解答用紙の解答欄に漢字2文字で記せ。

問G 空欄トに該当する人名を記述解答用紙の解答欄に記せ。

問H 空欄チに該当する人名を記述解答用紙の解答欄に記せ。

問I 空欄リに該当する語句を記述解答用紙の解答欄に記せ。

問J 空欄ヌに該当する西暦年を記述解答用紙の解答欄に記せ。

6² 次の文章を読んで、下記の設問（A～H）に答えよ。解答は記述解答用紙に記入せよ。

日中戦争が長期化すると、軍需生産を推進するために、民需品の生産と輸入がきびしく制限されるようになった。政府は「イ² は敵だ」を合い言葉に消費の節約と貯蓄の推進を国民に強く求め、民需の縮減と軍需生産のための資金蓄積を実現しようとした。男性にはカーキ色の ロ² 服、女性にはもんぺの着用を奨励し、「パーマメント」も禁止するなど、政府は非常時を強調し、国民生活のあらゆる面に干渉を強めた。国民の戦争協力を確保するため、大政翼賛会の下部機関として村落に部落会、都市に町内会が置かれるとともに、最末端組織として ハ² が設置され、経済統

制や戦時公債の引受などに戸別の協力を促す体制もつくられた。

消費の統制は奨励から強制へと深化していった。1940年には砂糖、マッチなどの必需品もあらかじめ政府から割り当てられた **二** がなければ、購入できないようになった。主食である米についても1941年から **ホ** 制が採用され、国が定めた1人当たり消費量にきびしく制限されるようになった。

生活の基礎である食糧の不足は戦争の円滑な遂行を妨げるので、その増産が目指された。1938年に農地調整法を制定して **ヘ** の創設を進めるとともに、翌39年には小作料統制令を公布するなど、増産のために寄生 **ト** の利益を押さえ込む政策がとられた。しかし、肥料不足などのために増産政策は奏功せず、食糧生産は1939年を境に減少していった。主食も米ではなく豆類などで代用されるようになり、都市住民は欠乏する食糧を闇取引や農村への買い出しによってまかなわざるを得なくなっていった。

国民生活の崩壊をよそに、政府は軍需品生産の拡大に邁進したが、工業生産全体は停滞し、1944年からは軍需品の生産も減少に向かうなど、チ 日本の戦争経済を支えてきたシステムは根底から崩れていった。

問A 空欄イに該当する語句をひらがな4字で記せ。

問B 空欄ロに該当する語句を記せ。

問C 空欄ハに該当する組織の名称を記せ。

問D 空欄ニに該当する語句を記せ。

問E 空欄ホに該当する語句を記せ。

問F 空欄ヘに該当する語句を記せ。

問G 空欄トに該当する語句を記せ。

問H 下線部チに関連して、「大東亜共栄圏」内の交易という点から、戦争経済を崩壊に導いた要因について説明せよ。

なお、解答は「制空・制海権を」で始め、以下の用語をすべて用いて45字以内で記せ。句読点も1字として数えよ。

原材料輸入 海上輸送

[以下余白]